

事務連絡
平成25年12月19日

各位

京都三大学教養教育研究・推進機構
運営委員長 築山 崇

三大学教養教育共同化フォーラムの開催について（御案内）

寒冷の候ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、京都府立大学、京都府立医科大学及び京都工芸繊維大学では、平成24年10月に京都三大学教養教育研究・推進機構を立ち上げ、教養教育共同化に向けた取組を進めているところですが、この度、下記のとおり三大学教養教育共同化フォーラムを開催することとなりました。

つきましては、別添のとおり、当フォーラムの案内チラシ等を送付させていただきますので、恐れ入りますが広報コーナー等での配布、関係の皆様への周知などについて、よろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

記

1 日時 平成26年1月25日（土） 13時30分から16時30分まで

2 会場 キャンパスプラザ京都 4階 第2講義室
(京都市下京区西洞院通塩小路下る)

3 概要

- ・開催テーマ「『教養の時代』がやってきた」
- ・講演 [講師：池上彰氏（東京工業大学リベラルアーツセンター教授）]
- ・対談 [池上彰氏・桑子敏雄氏（東京工業大学大学院社会理工学研究科教授、リベラルアーツセンター長）]

【問い合わせ先】 京都三大学教養教育研究・推進機構
〒603-8054 京都市北区上賀茂桜井町65
グラスヒル北山201号室
TEL：075-706-5136/FAX：075-701-8820
E-mail：y-koyama97@mail.pref.kyoto.jp

三大学教養教育共同化フォーラム

『教養の時代』が やってきた

日時

平成26年 **1/25** 土 13:30▶16:30

場所

キャンパスプラザ京都 4階 第2講義室

京都市下京区西洞院通塩小路下る

*京都市営地下鉄烏丸線「京都駅」、JR「京都駅」、近鉄「京都駅」下車。徒歩5分。

受付

1月8日(水)から1月16日(木)【必着】先着240名まで
(上記の期間外に到着した分は受付できませんので、ご了承ください。)

申込方法

参加ご希望の方は、往復はがき、あるいはメールにお名前、お電話番号を明記の上、申込先へお送りください。(1通につき2名様まで) 往復はがきの返信用には、参加される方の宛先(ご住所)をお書きください。

〈申込先〉 京都三大学教養教育研究・推進機構

〒603-8054 京都市北区上賀茂桜井町65 グラスヒル北山201号室

E-mail : kyouyou@kpu.ac.jp 問い合わせ ☎075-706-5136

内容

・基調講演 池上 彰 東京工業大学リベラルアーツセンター教授

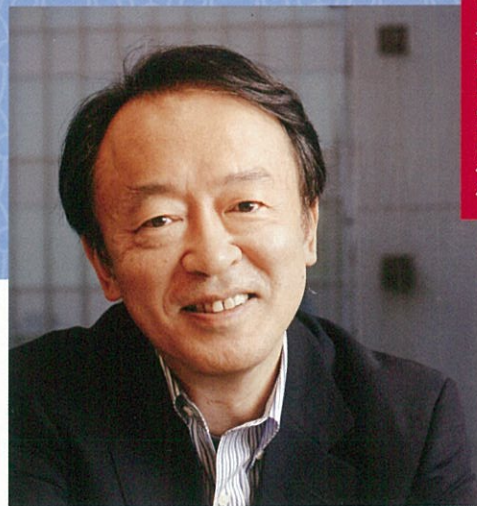
・パネルディスカッション

桑子敏雄 東京工業大学リベラルアーツセンター長

池上 彰 東京工業大学リベラルアーツセンター教授

築山 崇 京都三大学教養教育研究・推進機構運営委員長

京都三大学(京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学)が取り組む教養教育の共同化は、平成26(2014)年4月より開講となります。フォーラムでは、「教養教育って何?」から始まり、今求められる教養教育について、東京工業大学リベラルアーツセンターの桑子敏雄教授と池上彰教授に京都三大学教養教育研究・推進機構の築山運営委員長(京都府立大学副学長)を交えて語り合います。



基調講演

東京工業大学 リベラルアーツセンター教授

池上 彰氏

1950年長野県生まれ。1973年、慶応義塾大学経済学部卒業後、NHK入局。社会部記者として多くの報道現場を経験後、キャスターとして活躍。2005年よりフリーランス・ジャーナリストとして独立。2012年、東京工業大学リベラルアーツセンター教授に就任。著書:『そだったのか!現代史』(2000年、集英社)、『伝える力』(2007年、PHP 研究所)、『池上彰と考える、仏教って何ですか?』(2012年、飛鳥新社)他多数。



東京工業大学 リベラルアーツセンター長

桑子 敏雄氏

1951年群馬県生まれ。1975年、東京大学文学部哲学科卒業、同大学院人文科学研究科哲学専修課程、博士課程修了。1996年、東京工業大学大学院社会理工学研究科教授。2012年、同リベラルアーツセンター長に就任。西洋と東洋の哲学および倫理学研究から、現代社会における環境や技術、社会的合意形成などに関する問題に取り組んでいる。著書:『風景の中の環境哲学』(2005年、東京大学出版会)、『生命と風景の哲学』(2013年、岩波書店)他多数。



京都三大学教養教育研究・推進機構運営委員長

築山 崇氏

1953年兵庫県生まれ。1984年、京都大学大学院教育学研究科博士後期課程中退。2008年、京都府立大学公共政策学部教授、地域連携センター長、京都府立大学法人理事。2012年、副学長・教務部長、京都三大学教養教育研究・推進機構運営委員長に就任。地域づくりと生涯学習の関係に関する実証的研究、現代社会における教育の公共性に関する理論的研究等に取り組んでいる。著書:『ふつうのむらがる動き 地域再生への道を探る』(2009年、クリエイツかもがわ、共編著)他。